

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費
 1項 農業費
 6目 農作物対策費

生産振興課(内線:7283)
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
こだわりの米づくり支援事業	2,514	2,613	△99			(諸収入) 1	2,513	
トータルコスト	11,389千円(前年度10,070千円) [正職員:1.1人、非常勤職員:0.1人]							
主な業務内容	実施主体である生産者、団体の支援、調整、コーディネート							
工程表の政策目標(指標)	特徴ある米づくりで付加価値を高め、ブランド化を進める (米の特A及び環境特A取得地区数 : 平成30年度目標 10地区)							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県の基幹作物である米について、新品種導入による収量増及び品質の向上と、地域のこだわりの米づくりによる農家の所得向上を図る。

2 主な事業内容

(単位:千円)

事業内容	事業主体	事業費	予算額	補助率
(1) 新品種「きぬむすめ」の導入促進				
ア 生産対策 新品種の栽培技術の徹底による良品質生産を支援	鳥取県産米改良協会	300	150	1/2以内
イ 販売対策 消費者等へ新品種をPRし、市場評価を高める取り組みを支援	JA全農とっとり	3,000	1,500	1/2以内
(2) こだわりの米づくり支援 地域の特徴ある米づくりの取り組みを支援 環境特A取得、販売促進、PR活動等 1地区当たり助成限度額 50千円	生産組織等	500	250	1/2以内
(3) 県事務費	県	614	614	
合計		4,414	2,514	

(参考)

「環境特A」とは

- ・水田、水路の生物の多様性、用水の水質、農業用水の上流、源流の環境等の水田環境の良さを格付米・食味鑑定士協会が認定した水田環境鑑定士が直接現地を調査し、判定
- ・全国で約100地区、約980haが取得

3 これまでの取組状況、改善点

- ・事業を活用した環境特A取得はないが、県内では1地区で取得済み。
- ・指導関係者の新品種の特長、栽培技術に関する理解が深まった。
- ・新品種の現地展示ほを設置した効果として、倉吉市古川沢集落などでは作付拡大の希望あり。
- ・こだわりの米づくり支援については、前年度から対象としている環境特Aの取り組みに加えて、地域の特徴ある米づくりについても対象とし、より広範な特徴ある米づくりを支援するよう改善した。